

市内12の雨水ポンプ場

長寿命化へ改築、更新

市議会市側答弁

9月定例岡山市議会は12日、代表質問を続行。佐藤人海（自民党・無所属の会）、松田安義（公明党）の両氏が市政全般についてたずねた。市側は、市内12の雨水ポンプ場について、施設ごとに長寿命化計画を策定し、計画的な改築、更新を検討する考えを示した。代表質問はこの日で終了、13日から個人質問に入る。

浸水対策

佐藤氏は昨年9月の台風12号による浸水被害を踏まえ、市内の排水施設の維持管理と更新の方針をたじた。南山瑞彦下水道局長は「2013年度を目標

防災キャンプ

市が浸水対策で整備した雨水ポンプ場は16施設。新しい4施設を除き、1954〜99年度に稼働した12施設を長寿命化の調査対象として、建物のひび割れやポンプの異常などを調べている。長寿命化計画は調査が終わった施設から順次策定を始めている。

つけていきたい」と答えた。キャンプでは宿泊のほか、非常食の調理や土のうづくりを実施。本年度は国の委託事業としてこれまでに8カ所で行われ、11月までに3カ所で実施予定。



佐藤人海氏



松田安義氏

に12排水施設の点検・調査を実施し、（調査を基に）施設内機器の長寿命化診断を行っている。今後、老朽化の状況などを勘案し、改築・更新を検討する」と答えた。

佐藤氏は、市民が体育館や公民館に宿泊し避難所生活を体験する「防災キャンプ」について「2013年度以降も継続するの」と質問。山脇健教育長は「参加者から避難所生活の不便さや精神的負担の大きさが分かったとの声が寄せられている。防災意識向上のため全地域の実施に結び

ついでに、市民や公民館関係者らが参加する13年2月開催の防災教育フォーラムで事例発表を行い、実施を呼び掛ける。

子育て支援

松田氏は、20〜40代の若者世代が求めている子育て支援について、市の取り組みを聞いた。熊代晴雄こども子育て担当局長は、7月に行った「子ども子育て支援に関するアンケート調査」の分析を通して、「市民の

論戦

岡山市政で最大のとなっている岡山場跡地（北区北長区、20・9畝）の活用。市が今月に入り備に向けた基本計画を示したことを受市議会の各会派に9月定例会代表質問（12日）で連日取りられ、賛否が交錯する。